

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

## 株式会社ヤマコー

山形市にある株式会社ヤマコーの佐々木雄大さん取材しました！  
佐々木さんは、山形大学人文学部を卒業した後、2020年に入社しました。  
現在は、山交バス株式会社営業部乗合課で勤務しています。

### (1) 仕事内容編

#### ——現在の仕事内容について教えてください。

私は営業部乗合課に所属していますが、「乗合」って何？と思いませんでしたか。「乗合」はバスの運行の形態です。街中を走る路線バスや高速バス、あとは市町村から委託を受けた「ベニちゃんバス」のようなものを乗合バスといいます。そのような乗合バスで、私が直接関わる業務として、申請届出作業があります。



申請届出は、乗合バスを走らせるうえで必ず国土交通省に届けなければならないもので、例えば、ここを走りますとか、バス停を増やしますとかですね。そのための書類を作るのが、私の仕事です。



あとは社外に出での仕事もあります。役場などに行って、まちに詳しいエキスパートの人たちから意見をもらって、今後こういうバス路線にしようといったことを話し合ったりします。私は西村山管内を担当しているので、寒河江市、河北町、朝日町、大江町や天童市によく行きます。

#### ——社内の仕事では具体的にどのようなことをしていますか。

申請届出作業では、まずは書類を作らなければなりません。地図を作ったり、それを編集したり、分量が多くなると印刷するだけでも時間がかかるし、それを製本するのも時間がかかります。

また、バスロケーションというシステムがありまして、バスが今どこを走っているのかがわかるようになっています。そういったものを管理する仕事や、ホームページの管理などをしています。

## ——仕事をしていて大変だと感じることはありますか？

山交バスは公共交通機関ですが、一事業者でもあるので、市町村との意見調整が大変ですね。会社の意向と実際に運転している人の意見、役場の意見が必ずしも一致するわけではありません。その間に入って調整をするのが私の仕事ですから、意見をすり合わせながら、意見がぶつかったときはお互いが合意できるように話し合いをしています。



## ——業務にあたって必要な資格はありますか？

運行管理者という資格がありまして、私は今持っていないのですが、今後取らなければいけません。他にも、異動になって不動産に行くと宅地建物取引士、観光に行けば旅行業務取扱管理者が必要になります。

## (2) 職場編

## ——出身地も山形市ですので地元での就職になりますが、就職の決め手はありますか？

私は大学で英語を勉強していきまして、コロナ禍の前はインバウンドのお客様がたくさん来ている時期ということもあり、せっかく英語を勉強したのでそれを武器にして山形を発信する側になろうという思いがありました。山形で観光従事者になろうと考えたとき、グループに山交観光があるヤマコーなら、自分のやりたいことができると考えました。



## ——ヤマコーに入社する前後で、驚いたことは何かありますか？



正直に言うと、バスで働きたくてヤマコーに入ったわけではないので、「バスか…」と思いました(笑)。ですが、バスで運賃変更などがあると、ありがたいことにメディアに取り上げてもらうことが多くて、割と注目していただいているのだなということは驚きました。

——社内にはどのような方が多いと思いますか。

皆さんとてもいい人ですね。本当にみんないい人で、自分でも運がいいなとすごく思います。就職についてネットで調べると、だいたい職場には合わない人が1人いるとか書いてあると思いますが、それが本当にいないんです。社内は風通しがよくて、自分の意見も聞いてくれるので、結構のびのびやらせてもらっています。上が怖い人だとどうしても自分の意見を言いにくいとは思いますが、そのようなことは今まで一度もありません。

——自分から提案することはありますか？



ホームページに旬の商品、例えば蔵王のロープウェイのセット券を宣伝するときに、トップに画像を載せるのですが、その画像を自分で作っています。デザイン作業はやったことがありませんでしたが、ホームページ担当になってからは、みんなを引き付ける画像を作りたいと思って、積極的に提案しています。

——働きやすさという点で良いと思う部分はありますか？

残業は仕事があればしますが、仕事がないければ帰っていいという感じです。上司が残っているから部下もいなければいけないという雰囲気は全然ないですね。有給休暇も取りたい日に取ることができます。

### (3) ある日の過ごし方編

#### ●8:15 【出社】

1日のスケジュールおよび業務の確認を行います。

#### ●8:30 【始業】

市役所や町役場へ行き、担当者と情報共有や意見交換を行います。帰社後、収集した意見・情報をまとめ、上司と共有します。



#### ●12:10 【お昼休憩】

休憩室で先輩方と昼食をとったり雑談をしたりして過ごします。

#### ●13:00 【午後の業務開始】

山形運輸支局へ提出する申請・届出書類を作成します。書類作成は結構な労力を要するので地道にコツコツとやっています。



#### ●18:00 【清掃】

キリのいいところで業務を終了し、給湯室の清掃を行います。

#### ●18:10 【退勤】

退勤後は自宅へ直行します。家では録画していたドラマやYouTubeを見て過ごします。

## (4) むらやまでの暮らし編

### ——休みの日はどのような過ごし方をしていますか？

休みの日は友達と遊ぶことが多いですね。コロナ禍で県境をまたぐと言われていたもので、なるべく山形県内で遊んでいます。遊びとはいえ、観光従事者なのでそれも知識になりますし。山形県内のことを発信する立場なので、アンテナを高くして、Twitter や Instagram をチェックして友達と出かけています。大学にいるときは「山形面白くないな」と思っていたのですが、最近は捨てたものじゃないなと思うようになりました（笑）。

### ——山形でお気に入りのところがあれば教えていただきたいです。

山形とは全然関係ないかもしれませんが、カシミールというインドカレー屋さんがあって、最近はそこにハマっていますね。

観光地で思い出しましたが、先日会社の企画で羽黒山に行って山伏修行をしました。白い装束を着て滝に打たれるんですよ。めったにできる経験ではありませんね。



### ——会社の企画とはどういうことですか？

新入社員研修として、山伏修行をしました。ヤマコーに入社した社員に山伏修行をさせるのが、2、3年前から始まりました。私の同期と新入社員、グループ会社社員の計8人で行き、山を登って滝に打たれ、宿坊に泊まって精進料理を食べました。宿坊には伝説的な山伏の方がいて、その人の話を聞いたりしました。どれ一つとってもめったにできない貴重な体験です。大変でしたが、楽しかったです。



一部の外国人はそういう経験が好きなようで、日本の精神文化に触れたい人たちは山伏修行のために外国から来るそうです。これから山伏修行を体験したい方に、実際に体験したことを話すことができます。

### ——そのような企画は、結構あるんですか？

いえ、新入社員研修くらいだと思います（笑）。普段は外部研修に参加したり、グループ内の研修があったりですね。ちゃんと年齢にあった研修をすると思います（笑）。



## (5) まとめ編

——今は山交バスに所属されていますが、今後は別のグループ会社に異動する可能性はありますか？



行く可能性はありますが、バスを1年やってみて、バスに染まってしまった感じがありますね(笑)。異動するなら、インバウンドに関わる会社で働いてみたいですね。山形県の人口がどんどん少なくなっていることを考えると、国内外のお客様に山形へ訪れてもらう必要があります。我々は先頭に立って「山形へのインバウンド」に取り組む立場にあると思いますので、

そのときに、自分が本来やりたと思っていたことができると思っています。

グループ会社はバスをはじめとしてリナワールドや蔵王・月山のロープウェイ、山交ハイヤー、山交観光、不動産、山交ビル管理などかなり多岐にわたっています。転職しなくても、いろいろな経験、業務ができるので、いろいろなことをやってみたい人にとっては最適な場所だと思います。

——入社したときはインバウンド観光に関わりたいと考えていたと思いますが、どのようなことやっていきたいと思いますか？

やっぱり英語を勉強していたので、外国の人に売っていけると理想的かなと思います。日本に来たい人、東北に来たい人、東北を目玉にしてもらったときに、いかにその人たちを取り込めるかが今後やってみたいことです。



現状だと東北での観光の目玉は蔵王の樹氷で、雪が降らない国からたくさん来ます。そういった人たちに向けて発信していくことに携われればと思います。

台湾などに直接行って売り込むこともあるので、そこに適する人材に自分が当てはまるようになりたいと思っています。

——今後就職活動を行う学生に対してアドバイスがあればお願いします。

私の場合だと、結構いろいろなビジョンを持っていて、絞り切れなかったということもありますが、選択肢は結構ありました。

業種を絞って就活すべきという人もいますが、私はいろいろな選択肢があっ

と思います。いい意味で柔軟にしたほうが自分の選択肢が狭まらないと思います。ただ、選択肢を広げる中でも、なぜ自分がここに可能性を見出したのか、それぞれに対して一本ずつ軸を持つことは大切だと思います。



———ありがとうございます！

佐々木さんはフランクな方で、終始楽しい雰囲気取材をすることができました。佐々木さんは山伏修行や留学など様々な経験をされており、その経験に基づいたお話は大変興味深いものばかりでした。また、社内では自ら提案して会社のホームページの画像を作成し、英語で外国人のお客さんに山形の魅力を伝えたいという目標があるなど、山形の企業で活躍する先輩を間近で見ることができました。

【インタビュアー：人文社会科学部 高橋依吹・藤井遥香、山形大学医学部 戸島悠登】

## 株式会社ヤマコー

---

【“新しい暮らし” “新しいたび” “新しいあそび”を創造し、地域に貢献するユトリアグループ】

(株)ヤマコーを中核企業としたユトリアグループは、1943年に山形交通(株)として創立以来、山形県内外で公共交通を担っており、地域の交通インフラの礎を築きました。また、いち早く観光事業を立ち上げ、多くのお客様を観光地へお連れし旅行の楽しさを広げ、蔵王や月山の観光地開発、県内初のゴルフ場や遊園地の建設など、地域の観光・レジャーの発展に尽力してきました。私たちはこれからも人々の生活に寄り添い、地域になくてはならないオンリーワンの企業として、地域振興・経済の発展に力を注ぎ、未来へ挑戦し続けます。

★やまがた子育て・介護応援いきいき企業（ダイヤモンド企業）

- ・所在地 山形市鉄砲町 2-13-18
- ・設立 昭和 18 年 10 月
- ・従業員数 119 名（男性 78 名、女性 41 名）
- ・URL <http://www.yamako.co.jp/>

